

学習指導案例 (歌唱と鑑賞)

1. 題材名

ミュージカルナンバーに親しもう～《レ・ミゼラブル》より

2. 本題材で扱う学習指導要領の内容

A 表現 (1) 歌唱ア, イ (ア), ウ (ア)

B.鑑賞 (1) 鑑賞ア (ア), イ (イ)

[共通事項] (1)

(生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素:「旋律」,「強弱」,「テクスチャ」)

3. 題材について

20世紀のミュージカルの代表作といえば1960年代の《サウンド・オブ・ミュージック》《ウエスト・サイド・ストーリー》であるが、1980年代にはイギリス発のミュージカルが世界的に有名となる。中でも《キャッツ》と並ぶ《レ・ミゼラブル》は今日でも人気のある作品として各国で上演され、ロングラン公演となっている。2012年には、映画として『レ・ミゼラブル』が公開され大ヒットとなり、さらに身近なミュージカル作品となっている。

4. 題材の目標

【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わり、登場人物の歌うさまざまなナンバーの表現形態の特徴を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、登場人物の心情をとらえて、イメージをもって歌唱表現を創意工夫する。

【学びに向かう力、人間性等】 ミュージカルに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。

5. 教材名

〈夢やぶれて〉(H.クレットマー:英語訳詞/岩谷時子:訳詞/C.-M.シェーンベルク:作曲)教科書p.46～47/本書p.78(教材解説), p.84(対訳)

〈民衆の歌〉(H.クレットマー:英語訳詞/岩谷時子:訳詞/C.-M.シェーンベルク:作曲/高山直也:編曲)教科書p.48～49/本書p.78(教材解説), p.85(対訳)

ミュージカル《レ・ミゼラブル》(C.-M.シェーンベルク:作曲)教科書p.141

世界的ミュージカルの代表作《レ・ミゼラブル》の有名なナンバーから教科書に掲載されている2曲を歌唱教材(独唱と合唱)で学習する。また、劇中の他のナンバーにも興味や関心がもてるようにする。

6. 題材の評価規準（歌唱・鑑賞）

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| 知 曲想と物語の特徴と登場人物との関わりについて理解している。(鑑賞) 技 創意工夫を生かした歌唱表現をするために楽曲に合った発声、発音などの技能を身に付けている。(歌唱) | 思 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚して、その働きを感受し、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、劇中(物語)の登場人物のイメージをもって歌唱表現に創意工夫をしている。(歌唱) | 態 生徒自らが、主体的・協動的に歌唱の学習に取り組もうとしている。(歌唱) |

7. 学習指導計画（4時間扱い）

| 次 | 時間 | ◆学習のねらい ○主な学習活動 | 評価規準【評価方法】 |
|---|-----------|---|------------------------------------|
| 1 | 1 2 | ◆映画『レ・ミゼラブル』を鑑賞し、物語と登場人物を理解し、ミュージカルのイメージをつかむ。 ○物語の時代背景(歴史的背景)を理解する。 ○登場人物の相関図を用いて、関係を理解する。 ○登場人物が歌うナンバー(抜粋でよい)を聴き(観て)、その心情や情景を理解する。 | 知 【観察】 |
| 2 | 3 (本時) | ◆歌唱の特徴(登場人物の心情)をとらえて歌う。 ○歌詞(日本語・英語)を音読し、意味を理解する。 ○発音に気をつけて、フレーズをもって歌う。 ○登場人物と歌詞の意味をとらえながら感情をもって歌う。 | 思 【観察】 技 【観察】 |
| | 4 | ○アンサンブル(英語)で、劇中で表現された音楽のイメージをもって歌唱できるようにする。 | 態 【観察】 |

8. 本時の展開（第3時間目）

本時の目標……劇中の登場人物の心情と曲想との関わりを感じ取り、歌詞の内容をもって音楽表現(歌唱)を工夫する。

| | ◎…学習内容 ○…学習活動 | ★…教師の働きかけ 評価規準【評価方法】 |
|--------|---|------------------------------------|
| 導入10分 | ◎ストレッチと発声練習をする。 ○姿勢・呼吸・口形・発音などに注意して行う。 | ☆力まずに発声できるように注意し適宜促す。 |
| 展開40分 | ◎前時間の学習をふまえて、登場人物の心情をとらえて歌う。 ○日本語訳で旋律を歌う(全体で音を取る)。 ○音符のリズムに注意をして、歌詞をきちんと発せるように歌う。 ○曲想をもってフレーズをとりながら歌う。 ○全体で歌う。 (時間があれば英語版でも歌う) | 思 【観察】 技 【観察】 |
| まとめ10分 | ◎登場人物の心情を歌唱表現する方法をまとめる。 ○最後に全体で歌う。 | |

Q&A

Q.1 登場人物の心情と曲想との関わりを理解させるために、教師がどのような働きかけをするかもう少し詳しく教えてください。

A. 基本的には、この作品全体の内容が理解できていないと難しいと思いますので、登場人物の相関図を使って、物語を前半、後半に分け、それぞれの背景や関係性を説明します。また、フランス革命以降の歴史的背景についても説明します。《レ・ミゼラブル》は、「哀れな人々」という邦題になりますが、それぞれの苦しみをもった人生の中の、密かな幸せを感じる小さな瞬間を各ナンバーから感じ取れるとよいと生徒に話しています。

Q.2 《レ・ミゼラブル》を全編鑑賞させる時間がない場合、特にどこを抜粋し(どこに焦点を当て)ますか？

A. 授業では解説を交えて抜粋で鑑賞することは可能かと思います。教科書に掲載されている楽曲のシーンのほか、筆者の個人的な視点ですが、《レ・ミゼラブル》のハイライトはエポニーヌの悲恋であると思いますので、〈On My Own〉のシーンも外せません。また、死とは対照的な美しい旋律が皮肉にも隠されている、ジャバールが死を選ぶシーンも、鑑賞させるとよいと思います。